Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行について（警報）【速報値】

令和８年（2026 年）７月２日（木）１５時００分

北海道富良野保健所
（北海道上川総合振興局保健環境部富良野地域保健室）
電 話：０１６７－２３－３１６１

道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和８年第２６週（令和８年６月２２日～令和８年６月２８日）において、富良野保健所管内の定点あたりのＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数が、警報基準である８人以上となりましたので、まん延を防止するため警報を発令します。

記

１　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎受診数　第２６週（令和８年６月２２日～６月２８日【速報値】）

区　　分	富良野保健所	全道※	全国※
定点当たり患者数	8.00 人	3.59 人	2.48 人

※全道、全国数値は第２５週（令和８年６月１５日～令和８年６月２１日）の公表値

２　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎はいずれの年齢でも起こり得るが、学童期の小児に最も多く、３歳以下や成人では典型的な臨床像を呈する症例は少ない。

通常、患者との接触を介して伝搬するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭・学校などの集団での感染も多い。

突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴う。

咽頭壁は浮腫状で扁桃は浸出を伴い、軟口蓋の小点状出血あるいは舌の変化として、発症早期には白苔（はくたい）に覆われた舌がみられ、その後白苔が剥離して苺舌となる。

なお、全道のＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況は北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。（URL：http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/602/map.html）

３　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の感染予防

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は飛沫感染、接触感染により伝搬するため、手洗いやうがいが有効です。

また、集団の中ではマスクを着用することも感染予防の有効な手段となります。

４　参考

（１）Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査事業の一環として、富良野保健所管内の医療機関（施設数１か所）を受診したＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者数を一週間ごとに把握・集計し、あらかじめ定めた警報の基準値を超えた場合に発令します。

警報は、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。

【警報の基準】
警　報：１定点医療機関あたりの受診患者数が一週間で８人以上の場合
※警報発生後は、１定点医療機関あたりの受診患者数が５人以上の場合は警報を継続

（２）最近５週における定点医療機関からの報告状況（表示は定点あたり患者数　単位：人）

	第 21 週 (5/18～5/24)	第 22 週 (5/25～5/31)	第 23 週 (6/1～6/7)	第 24 週 (6/8～6/14)	第 25 週 (6/15～6/21)
富良野保健所	7.00	4.00	3.00	3.00	5.00
全　国	3.07	2.79	2.58	2.58	2.48
全　道	4.68	4.42	4.06	4.32	3.59